

各 位

2011年10月7日  
株式会社イオンファンタジー  
代表取締役社長 土谷 美津子  
(コード番号 4343 )  
経理本部本部長 新田 悟  
(電話 043-212-6203)

## 2012年2月期9年度の営業概況

### 1. 業績の進捗

9月度(2011年8月21日～2011年9月20日)の営業収益は、38億54百万円、前期比104.0%(曜日調整後107.7%)となりました。

※月次の数値は、財務諸表作成基準での月次決算を実施していないため、管理会計上(未監査)の数値です。

### 2. 月次売上高の前期比伸び率の状況

(単位：%)

|         | 9月度   |       | 当期累計(3月度～9月度) |       |
|---------|-------|-------|---------------|-------|
|         | 全店    | 既存店   | 全店            | 既存店   |
| 遊戯機械売上  | 100.1 | 100.8 | 99.9          | 100.6 |
| 商品売上    | 121.4 | 122.4 | 97.5          | 98.5  |
| 遊戯施設売上計 | 104.1 | 104.8 | 99.4          | 100.2 |
| 売上高合計   | 104.0 | 104.8 | 99.4          | 100.2 |

※今年度の9月度は昨年に対し、夏休み土曜日減、平日火曜日増ため、売上高前期比伸び率への影響は3.7%減になります。

### 3. 営業の概況

9月度は全期間を通じ好調な売上で推移し、曜日まわりで3.7%のマイナス要因(土曜日1日減)ありましたが、売上計画に対し3億円程度(前年対比1億50百万円程度)上回ることができました。これは、ファンタジースキッズガーデンを中心とする時間制遊具グループとファミリーメダルグループの既存店伸び率が二桁を維持したことに加え、カードグループにおける既存タイトルの新弾カード展開や、新たにリリースされた「ガンダム トライエイジ」が好調に推移したことによる、商品売上の大幅な回復が要因であります。

これにより3月度からの累計売上高は、東日本大震災の影響(約8億円の売上損失)を吸収し、概ね前年並みまで回復することが出来ました。尚、唯一震災の影響で休業が続いていた宮城県のモーリーファンタジー多賀城店が9月23日にオープンしたことで、被災した店舗はすべて営業再開いたしました。

### 4. 出退店の状況

今期に入り(2/21～9/20)新規出店は4店舗、退店は5店舗となります。

以上